

2021年6月4日

各位

会社名 アジア開発キャピタル株式会社  
代表者名 代表取締役社長 アンセム ウォン  
ANSELM WONG  
(コード: 9318 東証第2部)  
問合せ先 IR推進執行役員 山内 沙織  
(TEL. 03-5534-9614)

**(開示事項の変更)「北京北大青鳥環宇科技股份有限公司が実施する  
公募増資への応募に関するお知らせ」の一部変更について**

2021年3月18日付適時開示資料「北京北大青鳥環宇科技股份有限公司が実施する公募増資への応募に関するお知らせ」(以下、「3月18日付開示」といいます。)に一部変更がございますので、下記の通りお知らせいたします。

1. 変更の理由

当社は、2021年3月15日付適時開示資料「北京北大青鳥環宇科技股份有限公司との包括的業務提携に関する基本合意のお知らせ」の通り、北京北大青鳥環宇科技股份有限公司(BEIJING BEIDA JADE BIRD UNIVERSAL SCITECH COMPANY LIMITED)(以下、「BJB社」といいます。)との間で「包括的業務提携のための基本合意書」(以下、「本件基本合意書」といいます。)を締結するとともに、3月18日付開示において、BJB社との協業関係をさらに強化するため、同社と資本提携を進めたい旨の記載を行いました。

その後、本件基本合意書に基づく当社とBJB社の協業関係は、当社子会社であるアジアインベストメントファンド株式会社(以下、「AIF社」といいます。)を通じてBJB社の公募増資を引き受けたことにより、維持・強化されており、今後も変更の予定はございません。しかし、この度、BJB社との協業関係は継続しながらも、同社株式の保有方針を変更し、AIF社の社内投資規程に基づく、短期売買目的・トレーディング目的といたしました。それに伴い、3月18日付開示の該当箇所を変更し、資本提携を進めたい旨の記載を削除するものであります。

なお、AIF社がBJB社株式を売却した場合に得る資金の用途につきましては、第14回新株予約権の行使により調達した資金の当初用途である「連結子会社のAIF社による日本および香港・中国本土・シンガポール・マレーシアなどの中華圏に上場する企業の第三者割当増資引受及び発行済株式の取得に係る資金」から変更ございません。

2. 変更の内容

変更箇所は下線を付しております。

**【変更前】**

1. 応募する理由

当社は、2021年3月15日付適時開示資料「北京北大青鳥環宇科技股份有限公司との包括的業務提携に関する基本合意のお知らせ」にてお知らせしました通り、BJB社との間で、包括的業務提携のための基本合意書を締結いたしました。当社は、リバイバルプランにてお知らせしました通り、華僑のネットワークを活用し、BJB社との間で本件基本合意書を締結したことが、企業価値の向上に繋がると考えております。

この度、当社は、2021年3月17日夜、BJB社が本公募増資を行う旨を開示したことを受け、慎重に検討した結果、BJB社の安全性・収益性・将来性を鑑み、BJB社との協業関係をさらに強化するため、当社完全子会社であるアジアインベストメントファンド株式会社を通じて本公募増資への応募を行い、本公募増資によって発行されるBJB社新株式(H株)(最大で135,744,000株)を引き受け、資本提携を進めたいと考えております。

なお、本公募増資の引受に当たっては、第14回新株予約権の行使にて調達した資金を充当いたします。

## 【変更後】

### 1. 応募する理由

当社は、2021年3月15日付適時開示資料「北京北大青島環宇科技股份有限公司との包括的業務提携に関する基本合意のお知らせ」にてお知らせしました通り、BJB社との間で、包括的業務提携のための基本合意書を締結いたしました。当社は、リバイバルプランにてお知らせしました通り、華僑のネットワークを活用し、BJB社との間で本件基本合意書を締結したことが、企業価値の向上に繋がると考えております。

この度、当社は、2021年3月17日夜、BJB社が本公募増資を行う旨を開示したことを受け、慎重に検討した結果、BJB社の安全性・収益性・将来性を鑑み、BJB社との協業関係をさらに強化するため、当社完全子会社であるアジアインベストメントファンド株式会社を通じて本公募増資への応募を行い、本公募増資によって発行されるBJB社新株式（H株）（最大で135,744,000株）を引き受けたいと考えております。

なお、本公募増資の引受に当たっては、第14回新株予約権の行使にて調達した資金を充当いたします。

以 上